



手編みセーター夫への愛は一度だけ
 転生の途中海鼠として休む
 開戦日いちにち水のやうな空
 罪を消すやうに山茶花散りしきり
 ぐんぐんと螺旋昇りに鷹渡る
 山河には山河の支度蔦かづら
 雪来るか空気鋼の張りをもち
 なだらかな匙の曲線降誕祭
 てのひらは心の鏡小鳥来る
 裸木となる寸前の阿修羅かな
 目瞑ればけふの遠しよ小夜時雨
 鳥籠の水枯れてゐる漱石忌
 木枯は別の世のこと深海魚
 まぶしさの霧氷の浄衣八甲田山
 枯木立嘘つく顔に向き不向き

千田 百里
 辻 美奈子
 大沢美智子
 広渡 敬雄
 細川 洋子
 平松うさぎ
 林 昭太郎
 辻前富美枝
 矢崎すみ子
 藤森すみれ
 荒井千佐代
 福島 茂
 中村 重幸
 古居 芳恵
 澤田 英紀

「むずかしいことをやさしく」十二月
 ふくろふの夜を引き裂くことありぬ
 かいつむり水の中にもある日暮
 階段の手摺冷たき開戦日
 淋代は波散るばかり秋惜しむ
 雪来ると土偶はこゑを上げにけり
 寒さうな貌淋代の雀らは
 能登国に神鵜の生るる十二月
 綺羅星は唄ひ伴奏は雪吊
 花八つ手父は耳より引き籠もる
 水鳥やひかり目映き鳩の海
 追熟とふ晩節ありや冬籠
 つぶやきは祈りとなりて寒の星
 腕立て伏せ冬なんのそのなんのその
 動くもの動かざるもの山眠る

稗田 寿明
 坂本 緑
 広海あぐり
 大森 春子
 須賀ゆかり
 兵藤 恵
 栗坪 和子
 阿部眞佐朗
 七田 文子
 菅原 健一
 長山 正子
 吉村さよ子
 西井薫美子
 井上 竜太
 青木 幹晴

